

建築物としての自然の博物館

飯田 徹

博物館・美術館を訪れる目的は？

「ちょっと気分転換に」、「落ち着けるから」、「なんとなく入ってみたいくなって」など、展示そのものへの興味だけでなく、その他の目的で立ち寄られる方も実は多いのではないのでしょうか。

今年4月の着任以来、当館には建物自体にも引き付けられる魅力があることに気づきました。多くの方に興味を持っていただけるとうれしく思います。

1 外観の落ち着きと美しさ

何と言っても外観の佇まい、気品を感じます。長いアプローチから見える、レンガ色の建物は季節ごとに木々や空の色で大きく印象が変わります。

敷地内の散策路など別の角度からはまた違った表情を見せます。



カエデとのコントラスト

2 内と外とのつながり

エントランス一面に大きなガラスがはめ込まれ、外から自然に差し込む光が、空間の広がりを感じさせます。2階の階段からのアングルもお勧めです。



サメの目線で…

3 シンプルな中に個性的なデザイン

天井は格子状になっており、空間にアクセントを加えています。また、床のタイルの使い方にもセンスを感じます。



ワッフルを思わせる天井



4 設計はモダニズム建築の先駆者

この建物の設計は前川國男。モダニズム建築の巨匠、世界遺産になった国立西洋美術館を設計したル・コルビュジエに師事した建築家です。

全国の公共建築には同氏設計のものがいくつもあります。県内では、歴史と民俗の博物館、埼玉会館。見比べてみると新たな発見があるかもしれません。

自然の博物館の魅力を堪能して！

もちろん建物だけではなく、館内には、国指定天然記念物の実物化石や、岩石・植物・昆虫の標本など多種多様な展示があり見どころいっぱい。埼玉の自然を楽しくわかりやすく学べます。

ぜひ、自然の博物館へお越しください。

(いいだ とおる・館長)